



高田 康子
(新風会)



※プレコンセプションケア推進と若者支援

Q 国のプレコンセプションケア推進5カ年計画のような中長期的な計画策定について、具体的にいつまでにどの計画に載せるのか。

A 令和7年4月から5年間を計画期間とする第3期三島市子ども・子育て支援事業計画において、プレコンセプションケアの推進として母子保健対策と医療体制の充実を図るためのトータルサポート体制を構築する取り組みを掲げていることから、各年代、ライフステージに応じた理解促進に努める。

※プレコンセプションケア…女性やカップルを対象として、将来の妊娠のための健康管理を促す取り組み

人生100年時代を全うするまでの取り組み

Q 生きる楽しみが健康寿命を延ばす意味でも、人とのつながりを育む仕組み作りの検討や、後押し、導入の可能性はあるか。

A 市は高齢者が楽しみながら社会参加活動を継続できるように、スマホで仲間づくりなど介護予防事業の実施やシニアクラブ、通いの場など交流の場の支援等を行っている。今後もつながりを育む活動が選択できるよう、様々な仕組みを広い視野で検討していく。



甲斐 幸博
(無会派)



スマートウェルネスみしまアクションプラン

Q スマートウェルネスみしまの取り組みを、無関心層の方に関心を持っていただくために、どのように推進するのか。

A 運動や健康に無関心な方でも意識せずに健康になれる仕掛けや工夫、子育てや仕事で忙しい方などの阻害要因の克服、さらには人と人との交流が健康促進につながるような地域づくりなどを念頭に、第5期アクションプランの6つの重点プロジェクトを進めていく。

観光客を増やす取り組み

Q 歴史・文化のある三島市を全国に広めるために、三島市で生まれた「半兵衛白紅桜」を市内に植えアピールしてはどうか。

A 長伏公園野球場の再整備の際に半兵衛白紅桜に樹種転換することを検討している。桜の植栽は一定の歩道幅が必要となるが、回遊ルートで可能な場所があれば検討していく。また、令和10年4月に全国桜シンポジウムが本市で開催されるため、桜の名所として広めていきたい。



(写真) 半兵衛白紅桜

他の質問事項

一人暮らしの高齢者孤独・孤立対策



横山 雅人
(新風会)



大学生と協働したまちづくり

Q 若者や観光客でにぎわう街にするため、市内2校の大学生と協働したまちづくりをしてはどうか。

A 両大学とは、観光分野をはじめ多岐にわたり共同研究や連携事業を実施しており、旅行商品や地元の特産品を活用したスイーツの開発などを行ってきた。今後も地元大学との連携を強化し、学生が地域への愛着を深め、若者に選ばれるまちづくりを進めていく。

箱根駅伝を活用した正月の街のにぎわい創出

Q 正月にまちなかで箱根駅伝応援イベントを開催すればまちなかのにぎわい創出になると思うがどうか。

A 箱根駅伝応援イベントの開催は、商店街のにぎわい創出や観光促進に寄与すると考えられる。しかし、パブリックビューイングなどを主催する場合には、権利許諾や安全管理などの課題への対応が必要となるため、手法や方法を調査・研究をしていく。



河野 月江
(日本共産党議員団)



生活保護世帯の自動車保有は柔軟な運用を

Q 車の保有に関する運用の基本となっているのは、自家用車普及率が7%だった時代に厚生省が出した通知であるが、車を持てる要件は。

A 通院には、障がい状況により利用し得る交通手段がない場合や公共交通機関の利用が著しく困難な地域に住する世帯が要件となり、通勤には、公共交通機関の利用が著しく困難な地域に住または通勤する場合等が要件となる。



健康で文化的な生活に欠かせないエアコン設置助成

Q 住民税非課税世帯や国のエアコン購入費助成対象外となる生活保護世帯に対し、他市町にないエアコン設置費用を助成できないか。

A 生活保護制度上、エアコン等の日常生活用品は、費用の助成により購入するのではなく、受給世帯が保護費のやりくりによって計画的に購入するものとされている。受給世帯への家計改善指導や生活福祉資金の活用等による購入を支援していく。

他の質問事項

監査委員の意見を踏まえた市長交際費の改善



岡田 美喜子
(新未来21)



佐野小学校通学バスの持続可能な運営

Q 児童数が減少している中、バスの燃料費等が高騰し自治会では通学バスの維持が困難になっている。補助金要綱の見直しができるか。

A 通学バスの継続は、佐野見晴台地区にとって重要な課題と認識しており、保護者負担に対する補助金は、4回の増額を行ってきた経緯がある。要綱の見直しは、市内の他地域との公平性の観点等から慎重な検討が必要だが、他市の事例等も参考に調査・研究する。

児童の登下校に見守りの目を増やす取り組み

Q 全国で児童が登下校時に交通事故や犯罪に巻き込まれる事案が発生している。ながら見守り登録制度を創設し取り組んではどうか。

A ながら見守り登録制度の創設は、児童の登下校時における見守り体制の強化、地域住民の安全意識向上などのメリットがあるため、他市の事例や取組を調査・研究する。



他の質問事項

民生委員・児童委員の欠員に対する支援策



秋山 恭亮
(改革みしま)



三島市のまちなかの湧水が少なかったことの原因究明

Q 令和7年4月・5月の三島市内の湧水が例年に比べ少なかった。三島駅南口東街区再開発事業や降水量も考慮した上で、原因の分析内容を伺う。

A 三島駅周辺の地下水位は御殿場観測所の過去の累積雨量と相関がある。本年1・4月の累積降水量は過去9年間で2番目に少なく、地下水調査で上流部と下流部の水位に不自然な変動は確認されていないため、降水量が少なかったことによる広域的な事象と捉えている。



三島駅南口東街区の定期借地エリアのホテル整備

Q 容積率緩和によりホテル整備エリアの床面積が増えることになる。ホテルのグレード・費用便益比・補助金算出基準について詳細を伺う。

A 定期借地事業での建物の床面積増大により、付加価値が高く、グレードの高いホテルの進出につながり、費用便益比の向上や税収増などの効果も期待できる。費用便益比を考慮し事業を推進していることから費用便益比がどのように変動するかを踏まえ対応していく。

他の質問事項

三島市のまちなかのまちづくりビジョンと計画